

生物多様性多様性の重要性UP



生物多様性国家戦略（2023-2030）策定

自然関連財務情報開示タスクフォース

TNFD Taskforce on Nature-related Financial Disclosures
2023年9月に最終提言



生物多様性の経済学:ダスグプタレビュー (2021)

“いま”は生物多様性とヒト・企業との関係性の転換点

環境保全活動

分類学など

生物多様性研究

重要性
増大！

労働力：学生や地域ボランティア

資金：科研費や寄付金

に依存

安定的な事業継続が難しい

個々の活動が経済的に

自立できる仕組みが必要不可欠！！

九州大学の生物多様性多様性研究→得に昆虫研究が盛ん



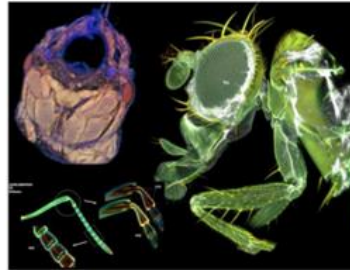
タイプ標本3,500点を含む
400万点以上の昆虫資料
国内一、世界でも有数の収蔵数
タイプ標本：種の基準となる標本



昆虫など生物の高精細3Dデジタル標本をオンラインで公開 九大

2022年9月18日 9時50分

昆虫や植物などの生物のほぼ1400種の高精細3Dのデジタル標本も、九州大学がオンライン上で公開しました。
誰でも自由に閲覧でき、動物学・生物学の専門家は「リアルな姿に似て生物が多様であることへの理解を深めてほしい」としています。



共焦点顕微鏡による3Dモデル

高精細3Dデジタル標本
3次元モデルに高精細写真を張り付けた精密3次元モデル (鹿野准教授提供)



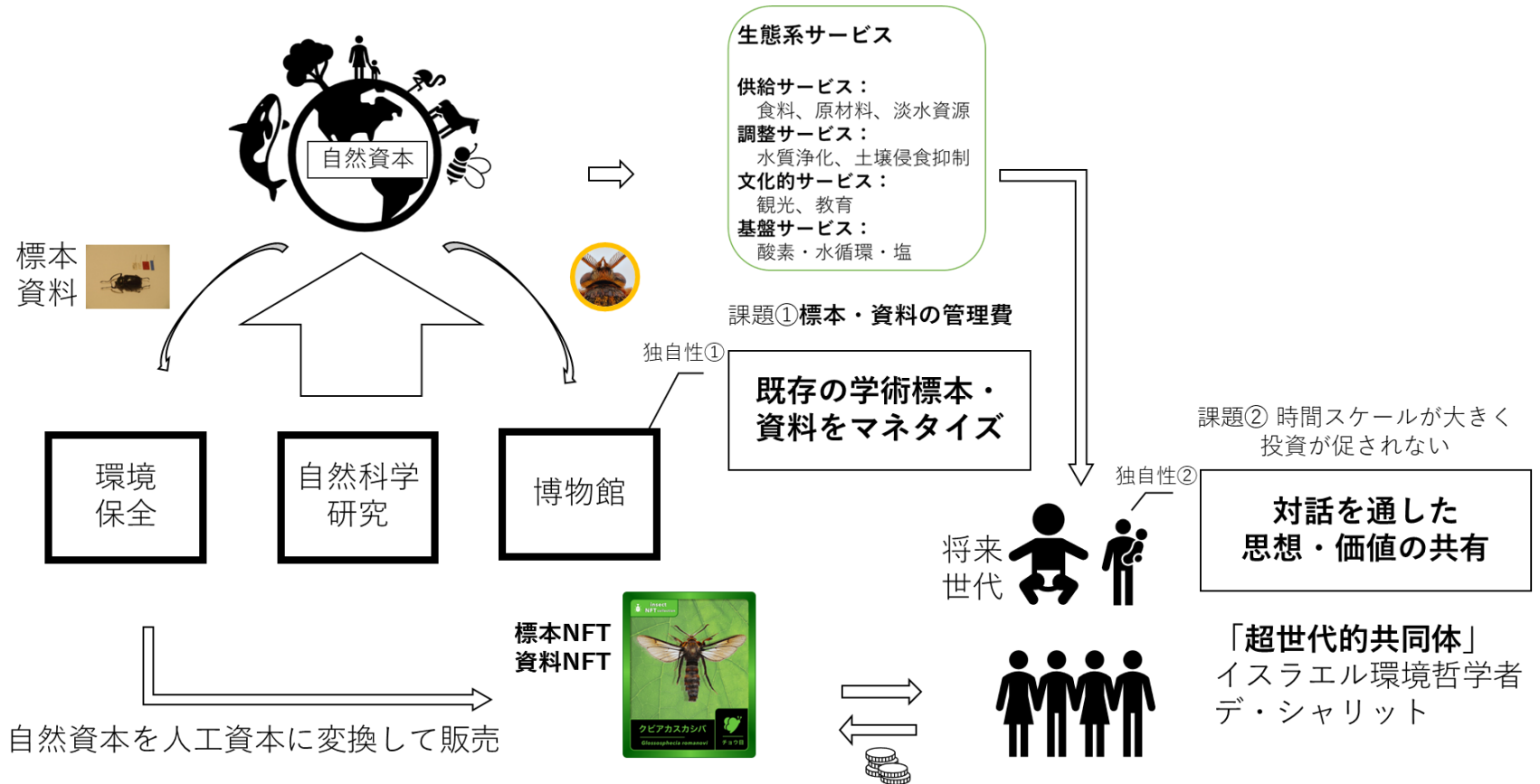
顕微鏡レベルで拡大可能な
超高精細画像

九州大学の画像解析技術

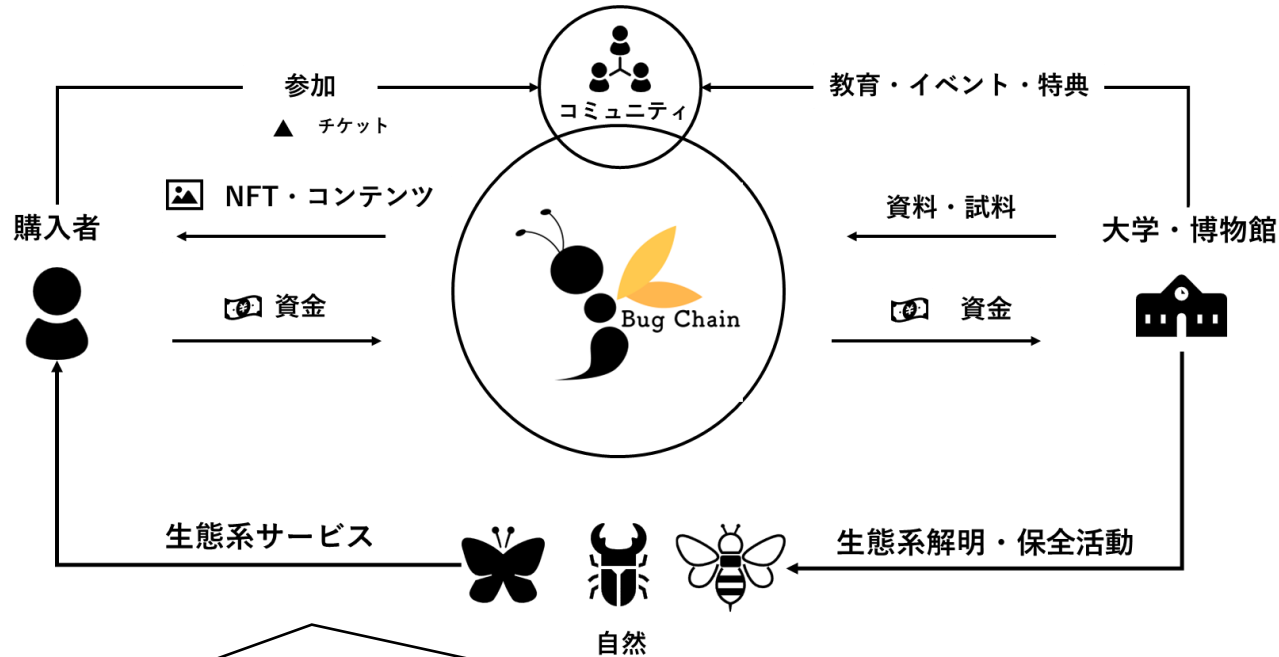
NFT*としてデジタル資産化

*NFT(Non-Fungible Token) ブロックチェーン技術により固有性を示す識別子付与、データのコピー・改ざんを不可能にすることで高い資産性が生まれる

標本・資料をNFT化した持続可能なアカデミックエコシステムの提案



アイデアの社会実装に向けてBug Chainを立ち上げ



これまでの取り組み

- ・ KU VISION PITCH 銅賞
- ・ QREC アイデアバトル 採択

現在

- ・ 学術系クラウドファンディング academist を利用したプロトタイピングに向け準備中
→ 8月お盆明けごろに公開予定



応募者氏名

浅見昂志・柿野耕平・河崎瑛介

将来の展望



応募者氏名

浅見昂志・柿野耕平・河崎瑛介